

【計画の期間】

◆平成24年度からおおむね5年間とし、必要に応じて見直しをします。

【計画の対象】

◆0歳からおおむね18歳までの子どもとします。



【子どもの読書活動推進のための具体的な取り組み】

【家庭では】

子どもにとっての「本との出会い」は家庭から始まります。家族の温かな愛情と肌のぬくもりを感じながらの絵本の読み聞かせは、子どものことばの発達を促し、豊かな感性を育み、心豊かな親子のふれあいの場ともなります。そのためにはまずは親やまわりの大人が進んで読書に親しみ、読書を楽しむ環境をつくるのが大切です。

- ◆ブックスタート事業の実施と家庭での読み聞かせの推進
- ◆市図書館のホームページや公共施設の広報・掲示を活用して、市図書館の利用案内や良書紹介などの情報提供
- ◆本を媒介とした家族間のコミュニケーションを促進する「家読(うちどく)」運動や親子読書の推進による家庭での読書環境の充実



連

【地域では】

地域には、公民館やコミュニティセンター、市図書館や地域子育て支援センター、放課後児童クラブ等、子どもたちやその家族、地域住民が気軽に集える場所があります。こうした身近な地域でいつでも気軽に本に出会える読書環境の整備を推進します。

- ◆蔵書の拡充と優良図書の新設による地域での子どもと本の出会場の充実
- ◆市図書館における読書ボランティア団体の育成と活動支援による子育て関係機関での読み聞かせ活動の推進
- ◆子育てを支援する関係施設や事業において読み聞かせの実施やブックリストの配布を行い、家庭での読み聞かせや読書習慣を身につけさせることの意義と重要性の広報・啓発



【市図書館では】

子どもたちがたくさんの良い本と出会えるような環境整備を総合的に行いながら、読書意欲を向上させる活動を積極的に推進します。

- ◆子どもたちの読書のニーズに応じた優良図書の整備と充実
- ◆利用目的に応じた団体貸出と関係各所との連携の推進
- ◆相互貸借システムの活用による図書資料の選択機会の拡充
- ◆魅力ある図書館行事の開催
- ◆読書活動ボランティアの活動支援
- ◆市図書館への理解と利用促進のための活動推進
- ◆中・高校生の読書活動推進のための支援
- ◆子どもの読書に関わる職員の専門的な知識と技能の向上
- ◆広報・啓発活動の積極的な推進
- ◆ユニバーサルデザインの視点を踏まえた読書環境や蔵書の整備の推進



携

【保育所・幼稚園では】

子どもたちが先生や友だちと一緒に絵本や物語を見たり、聞いたりする楽しさを経験することで、本に対する興味や関心もてるようになり、より豊かな感性が育ち、人への愛情や信頼感が育まれます。

- ◆定期的な読み聞かせ活動の一層の充実
- ◆行事や日々の生活の中で、絵本と親しむ様々な取り組みの充実
- ◆魅力ある乳幼児向けまたは保護者向けの図書資料の充実
- ◆読書に関する保・幼・小でのなめらかな連携や交流の推進
- ◆市図書館との連携をもとにした団体貸出の有効活用
- ◆読み聞かせの大切さや意義を保護者に伝えるための協力や連携の推進
- ◆読み聞かせにおける保育者一人一人の持ち味が生かせるような自己研修の推進



【小学校・中学校では】

子どもたちが本に接したり、親しんだりする機会を意図的・計画的に増やし、確かな読書習慣を身につけるための取り組みを積極的に推進します。

- ◆「読書センター、学習・情報センター」(※1)として機能する魅力的な図書館運営
- ◆児童生徒の多様な興味関心に対応した選書や主体的な学習活動を支援する選書を意図した図書や資料の充実
- ◆読書環境を整え、児童生徒の本や資料との出会いの工夫
- ◆読書の幅を広げ、質を高め、表現力を向上させるために、児童生徒の実態に合わせた様々な読書活動の取り組みの推進
- ◆家庭や地域の理解や協力を得た読書活動のより一層の推進

※1…児童生徒の創造力を培い、豊かな心を育む自由な読書活動や自発的・主体的な学習活動を支援するための学校図書館としての重要な機能